

第1回 石狩湾新港洋上風力発電事業検討協議会 議事概要

日時：平成26年10月15日（水）14:00～15:00

場所：石狩市花川北コミュニティセンター 2階会議室

1. 開会
2. 挨拶 石狩湾新港管理組合 田中専任副管理者
3. 委員委嘱
4. 会長・副会長選出
委員の互選により、北海道科学大学 白石悟委員を会長に、北海道立総合研究機構 高橋英明委員を副会長に選出
5. 議事（協議内容）
 - 1) 資料説明
事務局より、「第1回 石狩湾新港洋上風力発電事業検討協議会 説明資料」に基づき説明。
 - 2) 協議（委員質問・意見及び事務局回答）
 - ・公募の時期を含め、スケジュールを前倒しすることは出来ないのか。
→今年度中に国が「港湾における洋上風力発電の導入円滑化に向けた技術ガイドライン」を策定する予定となっているが、公募要項・審査基準（案）に追加する必要がある内容が盛り込まれることも考えられることから、その動向を踏まえスケジュールを設定している。
 - ・再生可能エネルギー源を利活用する区域を設定した経緯について聞きたい。
→港湾での風力発電施設導入が注目される一方で、区域を設定しない場合、港湾区域内の至る所で風力発電施設が設置される恐れがあることから、施設の設置可能な範囲を限定するために区域を設定した。
 - ・設定された区域の近辺では、危険物積載船舶を含む多くの船舶が錨泊している状況である。この区域設定により、錨泊エリアが狭くなり安全面への懸念や、船舶の運航計画が変わってしまうこと、また港内の整理がうまくいけなくなる恐れがある。
→船舶が港口等で待機する状況があると承知しており、更なる安全の徹底を図るとともに、別の場での議論もお願いしたいと考えている。
 - ・設置可能な範囲について、行政界は決まっているのか。
→現時点では、決定していない。今後、小樽市と石狩市で協議すると聞いている。
 - ・審査基準と評価基準は、どのように違うのか。
→審査基準は、事業者が応募するにあたり提案すべき内容を定めるものであり、評価基準は、応募書類を定量化して評価を行うためのものである。
6. その他
7. 閉会
次回第2回協議会は、11月下旬を予定。